

東日本大震災からの復興覚書 その8

東日本大震災から8年

伊藤滋

三陸沿岸被災地の8年

(野田村・宮古市田老・山田町・大槌町・釜石市鶴住居・陸前高田市)

2018年 被災地視察行程 7/20(金)～7/24(火)

7/20 仙台空港～三沢空港

三沢～久慈～野田～富代～田野畑～
宮古(田老)～宮古市街地【泊】

7/21 山田～大槌～釜石(鶴住居)～
釜石市街地～大船渡(越喜来)～
大船渡市街地～陸前高田【泊】

7/22 陸前高田～気仙沼～南三陸(志津川)～
七尾(雄物)～女川【泊】

7/23 女川～奇巻市街地～東松島(野蒜)～
旗田(栗浜)～名取(閉上)～
山元～新地～南相馬【泊】

7/24 南相馬～浪江～双葉～大熊～
富岡～いわき(視察終了)

7/25 いわき～東京駅



出典: Google Map/4.0.0.1

人口変化 (住民登録人口)

【震災前 (2011年3月時点) と現在 (2018年7月時点)】

2011年3月と2018年7月の人口増減 (住民登録人口)



■沿岸(津波被災)市町村の人口変化

	震災前 (2011年)	震災7年半後 (2018年)	増減数	増減率
宮古市田老部	272,937 (人)	243,310 (人)	-29,627 (人)	-10.9%
西城東沿岸部	984,686 (人)	949,865 (人)	-34,821 (人)	-3.5%
陸奥東沿岸部	251,201 (人)	171,696 (人)	-79,505 (人)	-31.6%
計	1,508,824 (人)	1,364,871 (人)	-143,953 (人)	-9.5%

出典: 国土院調査局「国勢調査」(2015年)・国勢調査(2015年)・国勢調査(2015年)・国勢調査(2015年)

1年目 野田村 野田漁港

2011.07

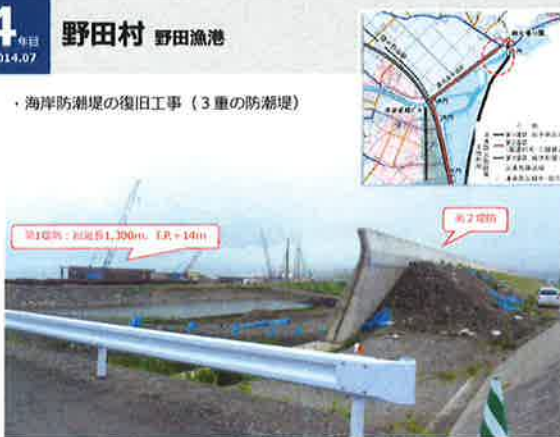
・津波は海岸防潮堤を超えて市街地に侵入、甚大な被害 [津波高14～16m]



4年目 野田村 野田漁港

2014.07

・海岸防潮堤の復旧工事 (3重の防潮堤)



5年目
2015.07

野田村 野田漁港

・海岸防潮堤の復旧工事 (3重の防潮堤)



7年目
2017.07

野田村 野田漁港

・海岸防潮堤の復旧工事 (3重の防潮堤)



8年目
2018.07

野田村 野田漁港

・海岸防潮堤の復旧工事 (3重の防潮堤)



8年目
2018.07 野田村 市街地

・公園盛土が「第3の堤防」

津波から野田村を守る仕組み
Mechanism to protect Noza village from the tsunami



1年目
2011.07 宮古市 田老地区

・万里の長城といわれた、X型の田老防潮堤の壊滅的被災



8年目
2018.07 宮古市 田老地区

・従前の防潮堤をかさ上げし復旧（第2線堤：T.P.+10.0m）



0年目
震災前 宮古市 田老地区



復興計画 宮古市 田老地区



8年目
2018.07 宮古市 田老地区

・海への視界を遮る新しい防潮堤（第1線堤：T.P.+14.7m）



0年目
震災前 宮古市 田老地区

・震災前の田老のまち並み



8年目
2018.07 宮古市 田老地区

・航空写真（GoogleMap）からみる復興の状況



4年目
2014.07 宮古市 田老地区

・防災集団移転促進事業（防集）による高台移転用地の造成



5
年目
2015.07

宮古市 田老地区

・高台移転用地の造成はほぼ完了、11月にまちびらきを実施



19

6
年目
2016.07

宮古市 田老地区

・住宅団地には自力再建住宅と災害公営住宅が建設



20

7
年目
2017.07

宮古市 田老地区

・ほとんどの宅地が埋まり、新たな市街地に



21

8
年目
2018.07

宮古市 田老地区

・高台にできた新たな住宅団地で人々は暮らす



22

1
年目
2011.07

山田町 大沢地区

・8mの津波が襲い、壊滅的被害を受けた大沢地区



23

4
年目
2014.07

山田町 大沢地区

・海側に新たに防潮堤の整備を計画、市街地はかさ上げ



24

8
年目
2018.07

山田町 大沢地区

・かさ上げが完了し、海側に防潮堤を建設中 (T.P.+9.7m)



25

1
年目
2011.07

大槌町 町方地区

・津波と火災により甚大な被害を受けた市街地 [津波高12.6m]



26

4
年目
2014.07

大槌町 町方地区

・かさ上げに向けて、残った建物を取り壊し



27

5 年目
2015.07
大槌町 町方地区

・残った建物も取り壊し、市街地全体をかさ上げ



かさ上げの跡

6 年目
2016.07
大槌町 町方地区

・かさ上げて宅地造成が進んだ市街地



市街地造成

7 年目
2017.07
大槌町 町方地区

・かさ上げた宅地には、新たに住宅の再建が始まっている



8 年目
2019.07
大槌町 町方地区

・エリアの中心となる御社地区に、図書館や店舗が再建



8 年目
2019.07
大槌町 町方地区

・かさ上げの高さを活かした御社公園



1 年目
2011.07
釜石市 鶴住居地区

・津波教育の成果としての子ども達の判断による避難「釜石の奇跡」



1 年目
2011.07
釜石市 鶴住居地区

・子どもたちの避難経路



5 年目
2015.07
釜石市 鶴住居地区



ラグビーワールドカップ2019の会場に予定されている（仮称）釜石鶴住居復興スタジアム

8 年目
2019.07
釜石市 鶴住居地区

・こけら落としを数日後に控えた釜石復興スタジアム



震災前_陸前高田市 高田松原 (2002.10)



震災後_陸前高田市 高田松原 (2011.3.28)



1 年目 2011.07 陸前高田市 高田地区

・全域で壊滅的な被害を受けた高田市街地



4 年目 2014.07 陸前高田市 高田地区

・高台から低地へかさ上げの土が運ばれる



5 年目 2015.07 陸前高田市 高田地区

・宅地部分のかさ上げが進む市街地、続けて道路もかさ上げを予定



7 年目 2017.07 陸前高田市 高田地区

高田地区(全体)
写真 H29.4.27撮影



8 年目 2018.07 陸前高田市 高田地区

・高田地区全景



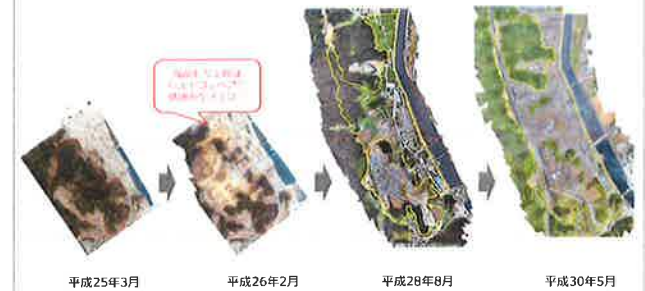
8 年目 2018.07 陸前高田市 高田地区

・住民で賑わう「アバッセたかた」と隣接する市立図書館



8 年目 2018.07 陸前高田市 今泉地区

・今泉地区の工事の様子



平成25年3月

平成26年2月

平成28年8月

平成30年5月

8
年目
2018.07

陸前高田市 今泉地区

・今泉地区にできた新しい住宅団地



仙台平野被災地の8年

(気仙沼市・南三陸町・石巻市・女川町・東松島市野蒜
・名取市閼上・山元町)

震災前_気仙沼市 市街地 (2007.5)



震災後_気仙沼市 市街地 (2011.3.28)



1
年目
2011.07

気仙沼市 市街地

・地盤沈下により慢性的に漏水する市街地



3
年目
2013.10

気仙沼市 気仙沼漁港

・防潮堤の計画高を示す案内板

住民からは海との距離が遠くなると反対の声も



8
年目
2018.07

気仙沼市 気仙沼漁港

・壁のようにそびえ、海への眺望を遮る防潮堤



震災前_南三陸町 志津川 (2001.5)



震災後_南三陸町 志津川 (2011.3.28)



1
年目
2011.07

南三陸町 志津川地区

・骨組みだけを残す防災対策庁舎【津波高14.7m】



59

復興
計画

南三陸町 志津川地区

・志津川エリアの将来イメージイラスト



59

0
年目
震災前

南三陸町 志津川地区

・震災以前の志津川の風景



59

4
年目
2014.07

南三陸町 志津川地区

・震災から4年目（2014年）の志津川の風景



59

5
年目
2015.07

南三陸町 志津川地区

・防災庁舎を残し、周囲に進むかさ上げ



59

6
年目
2016.07

南三陸町 志津川地区

・防災庁舎を残し、周囲に進むかさ上げ



60

8
年目
2019.07

南三陸町 志津川地区

・中心部のかさ上げ工事が進む



61

復興
計画

南三陸町 志津川地区（高台）

・高台に整備される新たな復興まちづくり



61

4
年目
2014.07

南三陸町 志津川地区（高台）

・高台のバイサイドアリーナを中心とする新たなまちづくり



61

5
年目
2015.07

南三陸町 志津川地区 (高台)

・大規模な高台造成の進展



04

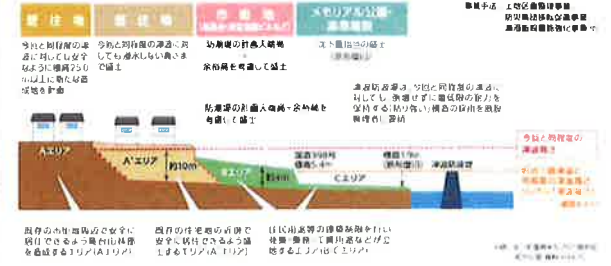
震災前_女川町 女川港周辺 (2010.7)



復興
計画

女川町 女川地区

女川町 高台移転概念図



05

6
年目
2016.07

南三陸町 志津川地区 (高台)

・造成した宅地に災害公営住宅が建設中



06

震災後_女川町 女川港周辺 (2011.4.5)



1
年目
2011.07

女川町 女川地区 (町立病院周辺)

・高台に建つ町立病院の1階天井付近まで津波が到達 [津波高15~18m]



07

8
年目
2018.07

南三陸町 志津川地区 (高台)

・丘陵地を切り崩したところに災害公営住宅が完成



08

1
年目
2011.07

女川町 女川地区 (町立病院周辺)

・ビル5階に達する津波により横転したRC造の建物



8
年目
2018.07

女川町 女川地区 (町立病院周辺)

・周囲のかさ上げによって、あまり高台ではなくなった町立病院



09

4
年目
2014.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・かさ上げが進む市街地



24

5
年目
2015.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・かさ上げが進む市街地と、さらに高台に整備される住宅地



25

6
年目
2016.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・新しい女川駅周辺



26

8
年目
2018.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・宅地造成が進んだ女川駅周辺



27

7
年目
2017.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・2017年4月の女川駅周辺（航空写真）



28

5
年目
2015.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・新しい女川駅と駅前ひろば



29

8
年目
2018.07

女川町 女川地区（駅周辺）

・女川駅から海まで続くプロムナード



30

2
年目
2012.08

女川町 女川地区

・コンテナを利用した3階建ての仮設住宅



31

8
年目
2010.07

女川町 女川地区

・空き部屋が散見される仮設住宅



32

震災前_東松島市 野蒜地区 (2008.9)



震災後_東松島市 野蒜地区 (2015.5)



7 東松島市 野蒜地区 (野蒜駅)

・新しい市街地が誕生した野蒜駅前



震災後_東松島市 野蒜地区 (2013.3)



震災後_東松島市 野蒜地区 (2016.8)



7 東松島市 野蒜地区 (野蒜ヶ丘)

・新しい野蒜駅前(できた新市街地 (野蒜ヶ丘))



1 東松島市 野蒜地区

・壊滅的被害を受けた海沿いの住宅地 [津波高10~11m]



震災後_東松島市 野蒜地区 (2017.5)



震災前_名取市 瀬上地区 (2007.5)



震災後_名取市 関上地区 (2011.4.17)



名取市 関上地区

震災以前の関上市街地の風景



2丁目の町並み

4年目 名取市 関上地区 (日和山)

日和山の周辺は災害危険区域に指定



復興計画

名取市 関上地区



94

7年目 2017.07

名取市 関上地区

名取川沿いに復興公営住宅（集合住宅型・戸建型）を整備



95

8年目 2016.07

名取市 関上地区

名取川沿いに復興公営住宅や戸建住宅（自主再建）の整備が進む



96

8年目 2016.07

名取市 関上漁港

ゆりあげ朝市の復活を牽引した商業施設“メイプル館”



97

震災前_山元町 坂元地区 (2010.7)



震災後_山元町 坂元地区 (2011.10.4)



98

1 年目
2013.07
山元町 旧坂元駅

・津波により駅舎と線路が流出したJR常磐線 坂元駅【津波高10m】



100

6 年目
2016.07
山元町 山下駅



2013年6月（施工前）

3年経過



2016年3月

出典：山元町まちづくり推進課「山元町まちづくり計画」

100

福島被災地の8年
(南相馬市小高・浪江町・富岡町・双葉町)

3 年目
2013.10
山元町 JR常磐線

・JR常磐線の内陸へのルート変更
(山下駅・坂元駅・新地駅を内陸移転)



JR常磐線のルート変更について(案) 資料13



- 坂元駅：現位置旧
- 山下駅：内陸移転
- 坂元駅：内陸移転
- 新地駅：内陸移転
- 駒ヶ嶺駅：現位置旧

100

8 年目
2010.07
山元町 山下駅

・移設されたJR常磐線山下駅



100

3 年目
2013.10
避難指示区域の変遷



- 特別避難区域**
- 放射線量が50μSv/h以上あることから、1リットルあたり1000ベクレルを超える放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 居住制限区域**
- 1リットルあたり1000ベクレル以上、10000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
 - 1リットルあたり1000ベクレル以上、10000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が20mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 避難指示解除準備区域**
- 放射線量が50μSv/h以下であること、かつ、1リットルあたり1000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
 - 1リットルあたり1000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が20mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 避難指示が解除された区域**
- 浪江町 (2015年9月5日解除)
 - 川内村 (2016年6月12日解除)
 - 富岡町 (2016年6月14日解除)
 - 南相馬市 (2016年7月12日解除)
 - 飯館村 (2017年3月31日解除)
 - 川俣町 (2017年3月31日解除)
 - 浪江町 (2017年3月31日解除)
 - 富岡町 (2017年4月1日解除)

100

復興計画
山元町 山下駅

・JR常磐線移設、新しい山下駅周辺に新市街地を整備

山下駅周辺地区 市街地イメージ



100

8 年目
2010.07
山元町 山下駅

・山下駅周辺の住宅市街地



100

8 年目
2010.07
避難指示区域の変遷
※7年目から変更なし



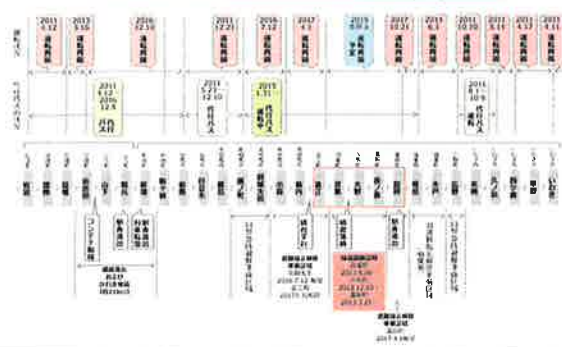
- 特別避難区域**
- 放射線量が50μSv/h以上あることから、1リットルあたり1000ベクレルを超える放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 居住制限区域**
- 1リットルあたり1000ベクレル以上、10000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
 - 1リットルあたり1000ベクレル以上、10000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が20mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 避難指示解除準備区域**
- 放射線量が50μSv/h以下であること、かつ、1リットルあたり1000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が50mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
 - 1リットルあたり1000ベクレル以下である放射性物質濃度の放射性物質を含む水、土壌、空気中の放射性物質濃度が20mSvを超えて、5年以内20mSvを100mSv以下にする必要がある区域
- 避難指示が解除された区域**
- 浪江町 (2015年9月5日解除)
 - 川内村 (2016年6月12日解除)
 - 富岡町 (2016年6月14日解除)
 - 南相馬市 (2016年7月12日解除)
 - 飯館村 (2017年3月31日解除)
 - 川俣町 (2017年3月31日解除)
 - 浪江町 (2017年3月31日解除)
 - 富岡町 (2017年4月1日解除)

100

8
年目
2018.07

避難指示区域と鉄道状況

JR常磐線（いわき～岩沼）線路復旧状況および運転再開状況（※JR常磐線）



119

8
年目
2018.07

視察地の避難指示の変遷

	1年目 (2011年)	2年目 (2012年)	3年目 (2013年)	4年目 (2014年)	5年目 (2015年)	6年目 (2016年)	7年目 (2017年)	8年目 (2018年)
原ノ町駅 (※原町区)	緊急時 避難準備 区域	解除						
小高駅 (※南相馬市)	警戒区域	避難指示 解除準備 区域				解除		
浪江駅 (※浪江町)	警戒区域		避難指示 解除準備 区域				解除	
双葉町	警戒区域		避難困難 区域					
福島第一原子力発電所								
大島町	警戒区域		避難困難 区域					
富岡駅 (※富岡町)	警戒区域		居住制限 区域					解除

120

南相馬市原町区 小高駅周辺

避難指示解除から2年

2016年7月〔6年目〕避難指示解除
(避難指示解除準備区域 → 解除)

121

2
年目
2012.08

南相馬市 小高駅：避難指示解除準備区域

・避難指示により無人のJR常磐線 小高駅周辺



113

3
年目
2013.10

南相馬市 小高駅：避難指示解除準備区域

・震災の日の朝のまま、駐輪場に放置された自転車



114

6
年目
2016.07

南相馬市 小高駅：2016年7月 避難指示が解除〔6年目〕

・JR常磐線原ノ町駅～小高駅間、避難指示解除と同時に運転再開



114

7
年目
2017.07

南相馬市 小高駅：避難指示解除から1年

・駅前では旅館が営業再開



115

8
年目
2018.07

南相馬市 小高駅：避難指示解除から2年

・生活の場を戻した人も少しずつ増えている



116

8
年目
2018.07

南相馬市 小高駅：避難指示解除から2年

・日常の利用が少しずつ戻ってきた駅前の自転車置き場



117

浪江町 浪江駅周辺

避難指示解除から1年

2017年3月【7年目】避難指示解除
(避難指示解除準備区域 → 解除)

119

5年目 浪江町 浪江駅：避難指示解除準備区域

・JR常磐線運休（原ノ町～竜田間）のため、無人で荒れた浪江駅



119

5年目 浪江町 浪江駅：避難指示解除準備区域

・震災当日のままの駅舎入口の掲示『大地震のため終日運転を見合わせます。』



(大地震のため終日運転を見合わせます。)

120

5年目 浪江町 浪江駅：避難指示解除準備区域

・避難指示により住民がいなくなり荒廃した浪江駅前



121

7年目 浪江町 浪江駅：2017年3月避難指示が解除

・避難指示解除に合わせてJR常磐線も運転再開



122

8年目 浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・閑散とした浪江駅前



123

8年目 浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・避難解除から1年経ったが、生活の気配はほとんどない



124

8年目 浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・避難解除から1年経ったが、生活の気配はほとんどない



125

8年目 浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・避難解除から1年経ったが、生活の気配はほとんどない



126

8
年目
2018.07

浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・再開しているのはJAや新聞販売店などで、一般商店はほとんどない



127

8
年目
2018.07

浪江町 浪江駅：避難指示から1年

・長期間放置されたことで、倒壊寸前の建物



128

富岡町 富岡駅周辺

避難指示解除から1年

2017年4月【7年目】避難指示解除
(居住制限地域/避難指示解除準備区域 → 解除)

129

5
年目
2015.07

富岡町 富岡駅：居住制限区域

・津波で被災したJR常磐線富岡駅付近の線路



130

5
年目
2015.07

富岡町 富岡駅：居住制限区域

・避難指示のため手付かずで残された、津波被害を受けた建物



131

7
年目
2017.07

富岡町 富岡駅：2017年4月避難指示が解除

・2017年10月のJR常磐線再開（富岡～竜田）に向けて進む駅舎工事



132

7
年目
2017.07

富岡町 富岡駅：2017年4月避難指示が解除

・富岡駅近くに整備された災害公営住宅



133

8
年目
2018.07

富岡町 富岡駅：避難指示から1年

・再開された富岡駅



134

8
年目
2018.07

富岡町 富岡駅：避難指示から1年

・富岡駅近くに整備されたショッピングモール



135

8 8年目
2018.07 **高岡町** 富岡駅：避難指示から1年

- ・民間賃貸住宅も入居が進む



116

双葉町 国道6号沿い

2017年7月現在 帰還困難区域

117

5 5年目
2015.07 **双葉町** 国道6号沿い：帰還困難区域

- ・国道6号の外への立入りを禁止するバリケード



118

6 6年目
2016.07 **双葉町** 国道6号沿い：帰還困難区域

- ・国道6号の外への立入りを禁止するバリケード



119

7 7年目
2017.07 **双葉町** 国道6号沿い：帰還困難区域

- ・国道6号の外への立入りを禁止するバリケード



120

8 8年目
2018.07 **双葉町** 国道6号沿い：帰還困難区域

- ・国道6号の外への立入りを禁止するバリケード



121

終